

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000010
事業所名	元町グループホーム

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域で放置された畑を借りて、イモなどを苗つけから収穫まで入居者と楽しんでいる。施設の春祭りには地域の人々も招待した。地域の盆踊り、運動会も参加し、元旦の地域マラソンではエントリーした職員の応援に出かけた。地域向けに「ノロウィルス対策講座」や、「認知症講座」を開催し、ホームの資源を地域に還元している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	地域の自治会長・老人クラブ会長・民生委員・地域包括センター職員・入居者家族・職員をメンバーとし、今年も6回の開催が確認された。運営推進会議メンバーに対し、会議の意味・認知症の説明をし、より身近に感じてもらうため、会議後にホームの見学もしてもらった。地域のケアマネージャー・会議委員を招いて食事会も開催している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	管理者は認知症認定審査会委員を務めており、毎月一度は市役所を訪れ、その折に入居者の詳細なニーズを伝えている。地域の小学校では「福祉講座」を開講し、職員が「認知症」について説明している。地域の住民向けにも「認知症講座」を開講している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	年に2回の家族会のほかに、職員と家族のみの食事会が設けられており、そこではホームの活動・経営状況等細かに報告している。家族向けのホーム便りも毎月発行され、それとは別に個々の入居者のその月の状況を知らせる写真付き便りも届けられている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	×	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。